

平成29年度自己評価表

1. 学校の教育目標

新潟こども医療専門学校は、学校法人新潟高度情報学園の組織の中の一つであり、その教育理念は学校教育法に基づき「商業実務および教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養人格度の高い道義・礼節・作法をも身に付けた人材の育成」を目的とした教育機関である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

こども未来学科・・・ 小学校のボランティアや保健室の訪問等、実際の現場を体験できるような機会をできるだけ多く設けモチベーションの維持を目指す。また、公務員試験のサポート体制の構築を目指す。学校での公務員対策とは別に、その学習にはまだついていけないような学生のサポートを授業外に行う。1、2年次で学習への苦手意識を減らし、3・4年次に希望進路の学習に打ち込むことを目標とする。

こども発達学科・・・ 学生の変化や細やかな配慮、対応がないがしろにならないよう学科教員間で情報共有し同じ意識、態度で学生と向き合うことを徹底する。また、自分で問題を発見、解決する力、達成感・充実感などの感動体験を通じ保育者として必要な感性を身に付ける。「人を育てる仕事」に就くことを常に職員間で意識し現場で求められる人材育成を目指し、個々の個性と大切に向き合い自己肯定感・有能感がもてる学生に育てる。

保育科・・・ 道義・礼節・作法を1年次からしっかり身につけさせ、保育現場で必要とされる人材の育成に努めたい。また、実習に向けての事前事後指導、就職活動の支援を充実させていきたい。個々のスケジュール管理を行い、責任をもって行動できる学生を育てる。公務員合格者を増やす。

医療事務総合学科・・・ 社会人を見据えた学生の基礎を築き、専門学校生活の基盤づくり及び専門職としての資質を高める。また、常識や気遣いについて心がけることを日々の授業を通して促し、社会人を目指す立場としてしっかりした礼儀を習得する。何事も目的をはっきり学生に提示し、受け身ではなく意識的に取り組む姿勢を作り上げ学習効果を上げる。学生の変化を敏感に察知できるよう、声掛けし学生との信頼関係を築いていくことで不安や不満を解消できる環境を作る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・ 学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 2 1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 2 1

① 課題

理念に基づき特色である豊富な実習活動に取り組んでいる。そのことがアピールになり、入学にもつながっている。実際実習を重ねることで理想と現実とのギャップを感じる学生も多い。育成人材像と業界のニーズ、そして学生の活動意欲を保持しながらもその理念を理解し学修成果が得られることが今後の課題となる。

② 今後の改善方策

実習活動について、関連業界等とも協力し、内容を検討する。また、学生への理解、周知徹底を図り、活動の意義、内容を把握したうえで授業、課外活動に取り組むことができるように指導していく。その活動における目標の明確化と将来像の具現化の指導が徹底できるよう、教員が十分理解し学生との連携体制を構築する。

③ 特記事項

特になし

(2) . 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

運営組織の意思決定機能は、役職者会議を中心にして明確化されている。学校の組織運営に携わる事務職員の事務の多様化への対応が課題となってきている。報告義務体制は整っているが学生の多様化に伴い、報告例も多くなり業務の簡略化と報告のバランスをとることが今後の課題となる。

② 今後の改善方策

事務職員の意欲や資質向上の取り組みとして、事務分掌の見直し役割を細分化し全員把握することで協力体制を確立する。報告方法を検討し業務過多にならないように最小限にし、会議・委員会の決定権限を最大限に活用できるように構築する。報告内容が見られるようにすることで、会議時間の短縮を図る。

③ 特記事項

特になし

(3-1) . 教育活動 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (3) 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

姫路大学から東京福祉大学との併修に変更になりカリキュラムが大幅に変更となった。それに伴い養護・小学校のコース選択が入学後すぐに行われることとなったが、決定後学習が進むにつれて「このコースでよかったのか」という迷いがみられ続けていく自信のない学生がいる。また、自身の能力とコース選択が合わない学生がでてしまった。

② 今後の改善方策

コース選択にあたり4年生から話を聞く時間を設けてきたが、より一層ひとりひとりに合ったコース選択ができるよう学生とのガイダンスを密に行い等、支援体制を整えたい。また、実際に働いている先輩の声を聴く機会を設け、学生生活と卒業後の姿を結び付けられるようにしたい。可能であれば夏休み前までのコース選択にするなど、もう少し余裕が持てると学生自身の能力を鑑みて決定することができる為、大学へのコース選択時期の変更を望みたい。

③ 特記事項

特になし

(3-2) . 教育活動 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

学修面では、毎年 質の違う学生の能力と個人差、授業の進め方について課題となる。
又学生の多数は卒業と同時に子ども達の心身の成長を支援する専門職に就くことを考えると年々社会性、日常生活における礼儀作法 マナーを身につける教育的指導が必要と感じる。

② 今後の改善方策

礼節、マナーや常識が身につけていないと自覚している学生も多く、日常から当たり前のこととして身につくことができるよう学科教員が共有し一貫性と持続性をもって取り組むことをこころがけ指導する。

③ 特記事項

特になし

(3-3) . 教育活動 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (3) 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 (3) 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

当校のカリキュラムの中で、提携短大の意図する方法での授業ならびに試験を実施することが、教員、学生にも大きな負担となっており、それが学習意欲の低下、ひいては保育者を目指すことへの意欲低下にも繋がっている。

② 今後の改善方策

当校として学生の学習能力の向上を図ることも必要だが、通信課程教育の在り方について意見交換ができるような、提携校とのより良い関係性を望む。

③ 特記事項

特になし

(3-4) . 教育活動 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育 (産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等) が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員 (本務・兼務含む) を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

医療業界に社会人として求められる能力と学生の資質の差を読み取り、実現可能なレベルの学習から段階的に最終目標レベルに近づけていけるような指導が必要である。

② 今後の改善方策

学生個々の資質は異なるため、過去の例と比べ過ぎずそれぞれの能力を伸ばしていけるようしっかりと観察が重要である。

③ 特記事項

特になし

(4-1) . 学修成果 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

3・4年次は実習前後にレポート20本程度作成となり実習準備と並行して行うため余裕のなさが感じられる。特に3年生は授業数が多い中こども祭り・園講演とあり目の前の課題をこなすことに精一杯の様子。そのため、積み重ねた学習を就職に結びつけじっくり考える余裕がない状態である。

② 今後の改善方策

カリキュラムは減らすことができないが、行事を見直しや時間割編成を工夫することで、楽しみながら行事に取り組み、日々の心の余裕が持てるよう工夫したい。

③ 特記事項

特になし

(4-2) . 学修成果 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

保育現場からは卒業後 国語力 協働性 責任感 コミュニケーション能力等 資質が求められている中、基本的な文章表現力がままならない学生、求められる話し方が不十分な学生、主体的なコミュニケーションを苦手とする学生が多い。

② 今後の改善方策

基礎学力、就職後の応用に繋げていける基礎知識 人間力を向上させる上で問題点を整理し教員が意識共有を図り今後授業や指導に繋げていくことが大切である。

③ 特記事項

特になし

(4-3) . 学修成果 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

提携校の設題レポート作成の積み重ねにより、専門的な基礎知識は身につけてきているようにも感じるが、その学びを現場での実践に繋げることが出来ない。むしろレポート作成と試験の比重が大きくなったことで、実習準備、振り返り、自己分析、園研究に割ける時間は短くなり、実習評価の低下に繋がっているようにも感じる。実習成果と希望する内定を得るための学びの構築が課題である。

② 今後の改善方策

卒業時の到達目標を明確にしたうえでの授業計画の作成と授業実践。そのために担任・就職担当・実習指導担当での連携が必要。HR・RGS・実習指導の時間を有効的に使い、現場に求められる能力を身に付けた人材を育成する。

③ 特記事項

特になし

(4-4) . 学修成果 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

社会性の未熟さから環境に適応できず、人間関係に不安を抱えやすい学生が多い。
また、時間管理がうまくできず時間にルーズな学生も見られる。

② 今後の改善方策

些細な変化に気づいて声を掛け見守れるよう観察力が必要となる。ルールを提示するだけでなく、理由や経過を伝えることで時間管理の重要性を認識し、どう行動すべきか考えるよう促していく。

③ 特記事項

特になし

(5) . 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・ 保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

① 課題

（ 上記項目の評価が「3」についても、より具体的な対応ができる体制づくりが望ましい。 ）

② 今後の改善方策

（ 特になし ）

③ 特記事項

（ 特になし ）

(6-1) . 教育環境 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

インターネットへの接続状況が悪い。図書や教材がそろっていても活用方法がわからない学生がいる。

② 今後の改善方策

インターネットの接続状況の改善。図書や教材の活用方法について具体的に学生へ伝える機会を設ける。

③ 特記事項

特になし

(6-2) . 教育環境 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

ネット環境が万全でないため、レポート提出時期は担任が教務室で学生の代わりに印刷をかけている。人数が多いクラスは隙間の時間が印刷に追われ負担が大きい。

② 今後の改善方策

該当クラスが多いため会議にかけ万全な策を講ずる。

③ 特記事項

特になし

(6-3) . 教育環境 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 (2) 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 (2) 1

① 課題

ネット環境の不具合。印刷できない現状は担任に大きな負荷がかかる。学生からの不満も多い。

② 今後の改善方策

ネット環境改善のための設備投資。

③ 特記事項

特になし

(6-4) . 教育環境 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

インターネット回線、プリンターへの接続が不良である。

② 今後の改善方策

安定したインターネット通信環境の整備が重要となる。

③ 特記事項

特になし

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

① 課題

学費については妥当な金額設定になっていると思うが、納入時期について見直しができること、より希望者の負担を軽減できるのではないかと考える。

② 今後の改善方策

後期学費納入時期を各部署と相談のうえ変更できるよう検討していきたい。

③ 特記事項

全学科「職業実践専門課程」の認定を受けているため、教育成果等をWeb上で公開している。また、パンフレットやその他広報媒体制作時にも、適切な情報提供ができるよう今後も努めたい。

(8) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

① 課題

決算と予算で乖離している勘定科目が多くみられる

② 今後の改善方策

予算作成段階で、適正な勘定科目への振り分け精度を高める
補正予算を編成することで、乖離を修正する

③ 特記事項

特になし

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

個人情報の保護に関しては、教職員に対して更に意識を高めるよう推進する。

② 今後の改善方策

個人情報漏洩したときの対策として、任意保険の加入を進める。また、漏洩時のマニュアルを準備する。

③ 特記事項

特になし

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

ボランティア活動の内容により、申込みが殺到するものやなかなか集まらないものの差が激しい。希望した学生を人数の関係で断ってしまうと、その後のボランティアへの意欲が低下してしまう。

② 今後の改善方策

ボランティア担当から情報提供をする際、希望者が殺到する可能性のあるものは、対応できる学年から順に周知するなどの工夫が必要。

③ 特記事項

今年度は県内全域を対象に幼稚園免許取得特例講座と保育士資格取得特例講座を実施し、全受講生が合格した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校は、「商業実務及び教育・社会福祉分野において、専門的な知識・技術と合わせ教養人格の高い道義・礼節・作法をも身につけた人材の育成」を教育目標とし、学生指導及び学校運営を行っている。担任制を実施し、教科担当や就職担当と共に学生一人ひとりに対し、学業のみならず生活指導や就職指導等、様々な状況において手厚い指導を行っている。

しかしながら、年々若者の学力は低下し、社会常識にもずれが生じているため、提携大学の課題の取り組み、実習等で明らかになる現場力やコミュニケーション能力等、あらゆる部分で問題を抱える学生が多くなっている。教職員は職員会議や役職会議を通して情報共有を図り、連携しながら学校全体で学生を育てる体制を取れるよう努めている。

その中で次に問題にあがるのが、教職員の業務過多である。専門分野の教員でありながら、学校組織での役割や担任としての事務業務、そして学生の様々な面でのフォロー。限られた時間の中で効率良く働くために、業務内容や方法を見直さなければならない。また、一人ひとりのスケジュールをこまめに管理し、職員が互いに業務内容を把握し合うことで、集中する業務が分担されるよう組織全体で取り組む必要があるだろう。

「こども分野」と「医療分野」、それぞれの分野に関わる業界ニーズを学生に伝えていくことで、卒業や就職の動機付けが出来、学生自身のモチベーション維持にも繋がると考えられるため、本校はこれからは外部機関との繋がりを大切にし、常に新鮮な情報を得ていきたい。今後も教職員の研修や研究活動を充実させ、学校全体の資質向上を目指していきたい。

最後に、この点検・評価は透明性と公開性の高い評価であり、本校が「専門学校等評価基準」に基づく自己点検・自己評価活動を適切かつ適正に行っていること、及び本校の教育活動と学校運営の全てが基準を満たしていることを証明するものである。

本校はより良い教育の場であることを目指して更なる改善に努めたいと考えている。